

第（ 3 ）年 音楽科の授業

音楽科の目標・特性	<p>(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p>(2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。</p>
評価	<p>関心・意欲・態度</p> <p>音楽に幅広く関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>「アピールシート」による毎時間の自己評価表の活用</p>
観	<p>音楽的な感受や表現の工夫</p> <p>発想豊かに音楽の表現（感受）を工夫することができる。</p>
点	<p>表現の技能</p> <p>音楽の表現や鑑賞に必要な知識や技能を活用することができる。</p>
	<p>鑑賞の能力</p> <p>音楽を深く聴き取り、そのよさや美しさを味わうことができる。</p>
授 業 内 容 ・ 単 元 構 成	<p>題材（実施月）</p> <p style="text-align: center;">到 達 目 標</p>
	<p>歌詞の美しさを味わって歌おう（4月）</p> <p>「花」</p> <p>○歌詞の美しさを味わいながら歌うことができる。</p>
	<p>歌詞の内容や曲想を味わって歌おう（5月）</p> <p>「帰れソレントへ」</p> <p>「夢、遙か」「折り鶴」</p> <p>「ふりそでの少女」</p> <p>○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。</p>
	<p>合唱の表現を楽しみ、喜ぼう</p> <p>（6月～11月・1～3月）</p> <p>「ふるさと」</p> <p>「川中祭・音楽祭・卒業式の歌」</p> <p>○曲の仕組みを理解して表現を工夫しよう。</p> <p>○声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱できる。</p>
	<p>オーケストラの豊かな響きを味わおう</p> <p>（6月～7月）</p> <p>「協奏曲の名曲」</p> <p>「ブルタバ」</p> <p>○楽器の音色や音楽の様々な構成要素を聴き取り、曲を味わって聴くことができる</p>
	<p>心の歌</p> <p>（10月～12月）</p> <p>「花の街」「早春賦」</p> <p>○歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。</p>
<p>日本の音楽に親しもう</p> <p>（1月～3月）</p> <p>「雅楽」</p> <p>○日本の伝統音楽の魅力や郷土のよさを味わい、我が国の音楽に親しむことができる。</p>	
学習に使用する教科書・副教材・材料・道具・ファイルなど	<p>「中学生の音楽2・3上」「中学生の音楽2・3下」「中学生の器楽」</p> <p>スケッチブック・プリント・ソプラノリコーダー 五線ノート</p>

学習の前に

○日本の音楽、世界の民族音楽、クラシック音楽などのテレビやラジオの番組に、慣れ親しんでおこう。

授業中

○楽譜のことを学習する場面では、楽譜を読もうとする気持ちを大事にしよう。

○歌を歌う場面では、大きな声で歌おう。

○楽器を練習したり演奏する場面では、意欲的に練習して、歌うように演奏しよう。

○音を聴くことを大事に考えましょう。聴くときには他の音が邪魔になるはず değildir。静かにする場面を大切にしましょう。

学習後

○課題の提出は、忘れずにしましょう。

○わからない ことがあったり、楽器の練習など、音楽室に用事がある場合は、気軽に来てみて下さい。

評価の仕方

○授業の態度、作品、実技テスト、ペーパーテストなどを総合して評価します。

先生からのメッセージ

○楽しく学習するためには、基本的なことを学習しておくことも大事です。一見難しそうに見える楽譜も、ゆっくり学習すれば、少しずつ理解できるはず です。あきらめずに学習しましょう。

○「好きこそものの上手なれ」の言葉通り、興味を持てば持つほど、音楽が得意になれるはず です。興味を持って頑張りましょう。

○音楽は、時間と空間の中に鳴り響き、存在するものです。毎時間が、生き生きとした新しい表現を生み出す場となるよう、一緒に音楽に取り組みましょう。